

隠れた不調にも、自覚ある症状にも効果アリ。女子に最適な、正しいサプリの利用法。

体調が優れないけど病院に行くほどでもない…、なんとなるだい…という人は、まずはサプリメントを習慣にすることから始めてみては?

イマドキのサプリは長寿にも効く!?

健康や美を保つために必要な不可欠な栄養成分も、生活スタイルによってはきちんと摂ることもなかなか難しい…そんなときに頼りにしないのがサプリー。そんなサプリを摂っていれば、サプリを摂っているだけで健康になれるわけではないといふ。

「健康を保つためにはバランスのいい食生活が大前提ですが、忙しい現代人は、食事だけでは足りないがちな栄養素をサプリメントで補うのも有効な手段です。ただしサプリメントは必ず補助剤ということを説きましょう」(鶴屋小雪クリニック・秋島千子先生)

最近では新成分も続々登場。「遺伝子の修復を担うといふ「チエストラーフィーラクトリノレイン酸」や抗老成分「エイジング成分」として注目されています。(鶴屋先生)また、毎日のサプリPMに悩んでいるなら、こんな成分も。

「チエストラーフィーラクトリノレイン酸を含む角鲨油は、女性は結構多い成分で」「センココトマス、三宅鉱業さんによるレスベラトロールが、アンチエイジング成分として注目されています」(鶴屋先生)

「A.C.I.Lや抗老成分「エイジング成分」として注目される「内臓機能・日本内臓機能・本邦内臓機能」というM.S.の種類をサポートするといふ効果も望める半胱、体内に取り入れるものなので差し障害は懐柔されません。自分との相性をじっくりと見極めて」

CHECK!

あなたの体は
サプリを
求めている?!

「体のベースとなる栄養成分・ビタミン、ミネラルが足りていないと、内臓器官が功能低下を引き起こすことがあります」(片桐先生)

- お話を伺った方々
- 「中眠くなることが多い。昔と比べて疲れが取れにくくなった。
- 「肌荒れ、口内炎に悩んでる。ちゃんと睡眠をとつていても、なるべく運動や休憩、食事など心がけること。サプリを上手に生活を取り入れよう」(片桐先生)
- 「最近恋がうまくいかず、憂鬱。

MULTIPLE VITAMIN

体の基礎となる
栄養成分軍団!

健康体を支える代謝機能を整えるためにも欠かせないビタミン＆ミネラル。栄養の吸収の高まるといい、バイオペリカンやマルチビタミン&ミネラル配合のものを選んで。さらに、サプリの土台作りにも◎。

左から、マルチビタミン200粒(約100日分)￥2,835(ドクターシーラボ☎0120-371-217)キティヤードマルチビタミン&ミネラル100粒(約50日分)￥1,764(大塚製薬☎0120-896-008)

女子の不調にアプローチ!

お悩み別サプリのすすめ。

体に入れるものだから、ちゃんとした知識を、心地でも安心の正しい振りかたもおすすめサプリガイド。

悩み2

仕事の付き合いで外食が多くて体重が激増!
運動する時間がない
けど、すっきりしたい!
(25歳・営業)

努力いらずのダイエットが叶うかも?!

「L-カルニチンといったエネルギーのもとになる成分を摂って、脂肪を燃焼させましょう」(片桐先生)。L-カルニチンなどで基礎代謝をさらに高めることに着目した「バースコットスリム」や体温熱に働きかける「フォースコリー」は、軽い運動を合わせればダイエットの効率がぐっと上がる。一方、空腹感を感じにくくさせることに注目した「アロニア」は特別な運動不要。自律神経を活発にする作用で脂肪燃焼を狙う。

悩み1

毎朝、起きるのがツラすぎる!
すっきり起きるには?
(27歳・営業)



天然素材&酵素。超自然派サプリメント。

「寝起きが悪い人は代謝の異常が原因かもしれません。断然野菜や果物に含まれる酵素でまずは体質改善をしましょう」(片桐先生)。その酵素と天然素材を組み込んだのが「ビオテナジー」。オーガニック+野菜の果物、海藻、きのこ類、薬野菜をはじめとした52種類もの植物の栄養分を手軽に摂れる。天然の状態を極力加工法で、デリケートな酵素をしっかりと守る。心身の正常化をサポートし、本来の健康な体へと導いてくれる。

悩み3

季節の変わり目、毎度毎度

**鼻がぐずついて肌もボロボロ。
なんとかならない?**
(32歳・事務)

免疫力向上で心と体に作用。

「乳酸菌は腸内でも悪玉菌や有害物質を減少させたりするので免疫力アップに繋がるとおもわれています」(片桐先生)。「アレルケア」の主要成分はL-92 乳酸菌。ほのかに甘く、そのまま噛んで食べられるのも嬉しい。「ビオクイーン アドベージ」は、栄養満点な最高品質のローヤルゼリーや、ホリディーな持持ちの手助けをするハマスクエキスなどをプラス。光気な心を取り戻して、免疫力をグッと上げれば季節の変わり物もなんのその!



Q 量をいっぱい摂ったら
摂っただけ健康になれる?
A 摂りすぎると
逆効果になることも…。
量は用法通りが鉄則。

成分の種類によっては体調不良の要因に。

「ビタミンなどの水溶性成分は、過剰に摂取するとお腹がかかることがあります。ビタミンなどの脂溶性成分は体内に蓄積して体に悪影響を及ぼす可能性があります」(片桐先生)

「野生動物で摂取量を定められている成分もあるので、よく確認してください」(片桐先生)

私の不調
解消法!

見の疲れがひどいときは、「フットシリフレ」というフットマッサージャーを愛用。ヒーターが搭載されていて、足元を温めながらのマッサージが気持ちいい! 冷え症も改善されました。(25歳・ホリリスト)

カギは貧血。ヘム鉄摂取で改善へ。

意外なことに、貧血をはじめ女性の一般的な悩みは鉄分不足の貧血から始まっていることが多いのだそう。「女性は不育生理があるので、便的に貧血な場合が少なくありません。貧血は、体内での吸収がいいへム鉄をおすすめします。血透液で正常の人も食事から終わるまでの期間だけでも戻しておこう。貧血による理屈の不器用抑えられますよ」(片桐先生)。赤血球の形態に必要なビタミンB12と葉酸を配合の商品も。

右から、ヘムシーパス ヘム鉄カプセル (30~40日分) ¥4,725
(在宅クリニック販売店直送) 03-5748-0701 アドニチカルヘルス



■ ■ ■ サプリの飲み方 Q&A ③



Q 絶対お水と一緒に
摂らなきゃダメ?

A お水以外の飲み物と摂ると
吸収が悪くなる!

せっかくサプリを摂っても、ちゃんと吸収されなければ意味がない……!
「成分の吸収を安定させるためには、ならずお水で飲んでください」(片桐先生)
「たとえば、ヘム鉄はタンニンを含む紅茶やカツラインを入っているコーヒーと一緒にすると、吸収が悪くなります」(片桐先生)

悩み 4

昔から片頭痛に 悩んでいます。

薬には頼りたくないし、
サプリで体質改善
できませんか?

(27歳・研究職)



■ ■ ■ サプリの飲み方 Q&A ④



Q 組み合わせちゃダメな
成分ってありますか?

A 配合成分を
きちんと確認して、
重複を避けて摂るべし。

「過剰摂取を避けるために、数種類を使用するときは、内容量がぶら下りものを選んで。特にマルチビタミンやオメガ3などの成分の配合数が多いときは要注意ください」(片桐先生)

「逆にヘム鉄とビタミンC、カルシウムとビタミンDは一緒に、ビタミンB6はまとめて摂ると相乗効果や吸収アップが見られます」(片桐先生)

悩み 5

パソコンと向き合ってばかりで
肩こりがヒ�いんです。

肩こりと無縁な 体になりたい!

(29歳・事務)

血行促進で血巡りのいい体を目指して。

「まずは血巡りを整えることが大事。肩こりは血流の循環に問題がある場合が多いのです」(片桐先生)。血流促進に有用とされるラバジンエノールやヘマレジンを配合したサプリメントでどこまでも血流を促す。「脂肪層に多く含まれるステアリン酸はビタミンEの吸収を助けるため、血管壁を丈夫にするといわれています。体温を温めるといわれている生姜も、最近では様々な飲み物などにも配合されていて不動の人気成分です」(三宅さん)



悩み6

30歳になってから
二日酔いや疲れが抜けにくい…。

20代の元気を取り戻すには?

(31歳・出版)



Q サプリを摂るのにベストなタイミングって?

A 朝・昼・夜・時間帯は問わず、食後30分以内に摂るのがベスト。

「真っ白が胃にあるあいだのほうは胃酸の影響が少なく、ほかの栄養分と一緒に吸収されやすいので、なるべく食事済みに摂りましょう!」(秋島先生)

ただし、成分によってはまれに例外も。「服用法をきちんと確認して上手に摂りましょう!」(秋島先生)

DNAを若返らせる! 注目の新成分も。

基礎代謝の向上から疲労回復にも役立つとう高いいプラセンタは相変わらず人気。「最近注目のすごい成分はAC-11。活性酵素などによって傷つけたDNAの修復を促進する結果、細胞増殖の活性化を介してコラーゲン産生増加が認められています」(秋島先生)。「ボリュームノールの一例。レスペラトロールは、長寿と密接に関わりがあるといわれる遺伝子を活性化させ成分として注目的に」(三宅さん)。内側から若さを引き戻す!

悩み7

生理前のイライラ、むくみ、頭痛…

毎月の ツラいPMS、 どうにかしたい!

(28歳・営業)



Q 薬と一緒に
摂ってもいいもの?

A 薬の使用上の
注意に従うべき。

「基本的には大丈夫。ただ、処方されている薬や治療方針、疾患によるので、主治医と相談してください!」(西川先生)

一例として、甲状腺機能亢進症の患者さんはヨード剤が不適切。ということは、お医者さんにかかっていないなくても、市販のアリガリ剤など常用している人にはそのため健闘を。

ハーブでホルモンバランスを優しく調整。

PMSの緩和を求めるならホルモンバランスを整えると人気の、植物由来サプリを。イブニングプリムローズ(一ヶ月見直し)に含まれるγリノレン酸は脂溶、ゼラインのニキビ予防にアプローチ。生理前の頭痛や肌荒れ対策として期待できそう。そしてドライフローレン製品として使用されているエフェクストリマーは「イライラを抑えるカルシウム、代謝の異常を整えるビタミンB₆を配合しているので、PMS全般に効果的といわれています」(秋島先生)。

